

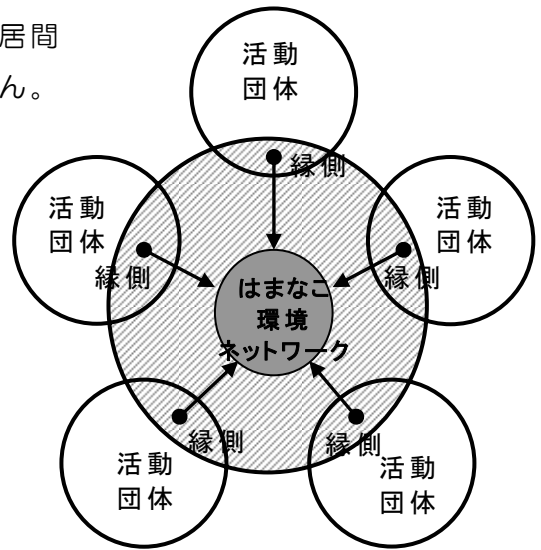
1. はまなご環境ネットワーク設立の趣旨

はまなご環境ネットワークは、浜名湖憲章に賛同する浜名湖流域の住民、環境保全団体、企業、及び、浜名湖を訪れる人々等による連携した環境保全活動の促進を図るとともに、互いに協働して活動する場を創出することを目的に平成 17 年 3 月に設立されました。

そのネットワークを進めるために、それぞれの地域で活動を行っている方たちが集まり、浜名湖の現状と流域が抱える問題を明らかにして、今、私たちが何をすべきかを考えます。

2. はまなご環境ネットワークとは

「縁側」でのつき合いをする場です。
 活動の基本は、それぞれの団体であります。
 ネットワークと言っても個々の団体の活動の座敷や居間まで入り込んで、一緒に活動するものではありません。
 しかし、玄関先での立ち話をするだけでなく、縁側に腰掛けて互いの情報を交換するようなイメージのものです。



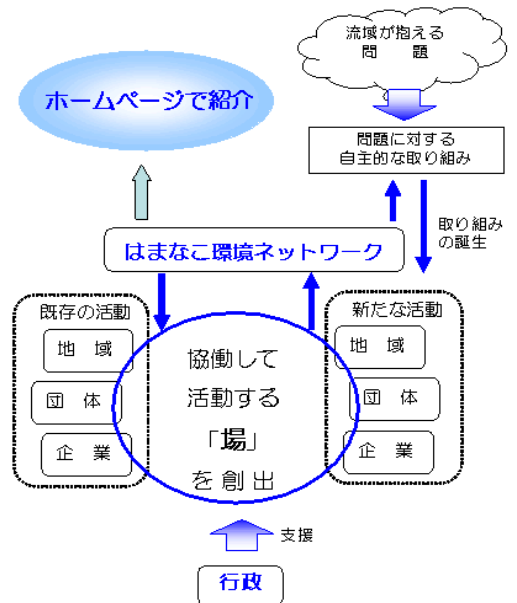
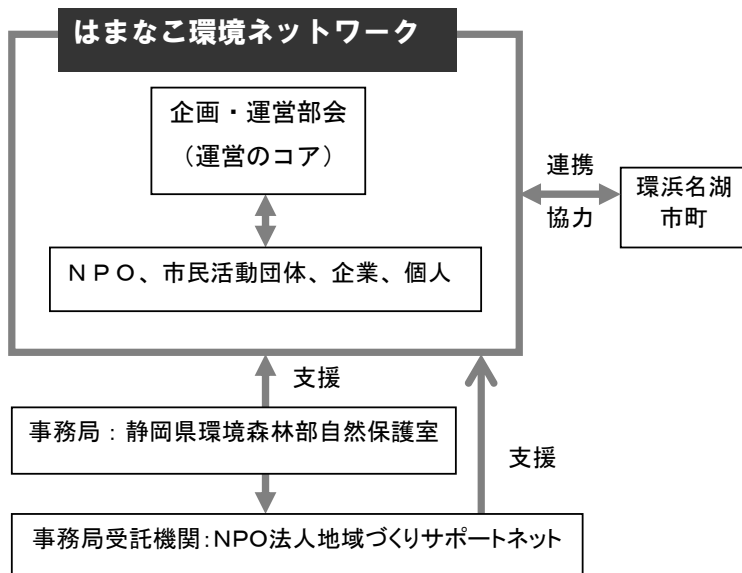
(1) メリット

- 各団体の活動のPRができます
- 活動の仲間が広がります
- 浜名湖の環境に関する情報交換できます

(2) ネットワークの役割

- 個々の活動を共同で情報発信する場
- 個々の団体だけでは解決できない問題について取り組み・提案する場
- 様々な団体のそれぞれ得意とする部分で一緒に取り組む場（考えが一致すれば）

(3) 体制



3. 今までの取り組み

(1) はまなこ環境ネットワーク準備会での検討

浜名湖流域の住民、環境保全団体、事業者等、浜名湖に関心のある方々が、連携した環境保全活動を行うために、平成16年3月から準備会組織において、ネットワークの目的、ネットワークで行いたい活動について議論してきました。

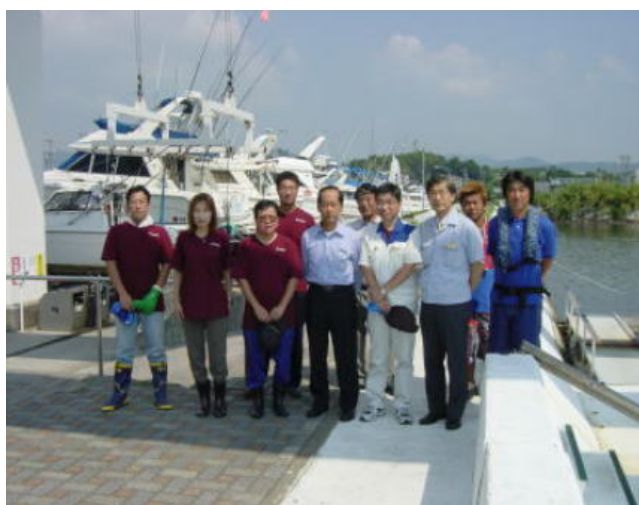
1年間かけて、ネットワーク組織の立ち上げ（会則、運営方法）、情報発信のためのホームページの研究等を行ってきました。



(2) アオサの除去事業(実験)

平成16年7月28日、浜名湖で発生するアオサを、船を使って湖から回収しました。アオサが腐敗して水の中に窒素やリンを放出する前に浜名湖から回収し、有効利用する事を目的に実施したテスト事業です。

今回は、スズキ（スズキ株式会社、株式会社スズキマリン）とヤマハ（ヤマハ発動機株式会社、株式会社マリコム東海）のご協力をいただき、2社（グループ）の協働作業が実現しました。回収したアオサは、JAみっかびで堆肥にして肥料試験に使われます。



4. 平成 17 年度及び平成 18 年度の取り組みについて

(1) 情報発信

1) はまなこ環境ネットワークのホームページ開設

各活動団体の情報を参加団体が自ら情報発信する「場」としてホームページを開設しました。

<http://www.hamanako-kankyo.net/>

2) メーリングリスト

主体的に情報交換できるように「メーリングリスト」を開設しました。

hamanako-kankyo@yahoogroups.jp

(2) 全体事業

1) はまなこ環境ネットワーク交流会の開催

平成 17 年 11 月 12 日、はまなこ環境ネットワークの設立後、浜名湖地域で環境保全・改善活動に取り組む団体や企業らが集まって浜松市村櫛町の「地球のたまご」において「交流会」を開催した。

各団体の活動を紹介し、浜名湖の現状について学んだ。今後のネットワークの在り方などの意見交換を行った。浜名湖ならではのこだわりの逸品で懇親会も行った。



浜名湖の環境保全について話し合う参加者たち
—浜松市の地球のたまご—

環境保全へ意見交換
はまなこ
ネット 20 団体参加し交流会

今年三月、浜名湖流域「ら」代表者が参加した。環境保全活動の促進を目的に発足した「はまなこ」環境ネットワーク(元川知孝企画・運営委員)は十二日、浜松市村櫛町の地球のたまごで第一回交流会を開いた。同ネットワークに所属する市民団体や NPO、企業など約二十の組織が参加した。

今年三月、浜名湖流域「ら」代表者が参加した。環境保全活動の促進を目的に発足した「はまなこ」環境ネットワーク(元川知孝企画・運営委員)は十二日、浜松市村櫛町の地球のたまごで第一回交流会を開いた。同ネットワークに所属する市民団体や NPO、企業など約二十の組織が参加した。

参加者からは「インターネットを活用した各団体の組織化はどうか」など、積極的な提言が出された。

平成 17 年 11 月 13 日
静岡新聞朝刊掲載



観光や農業、建設に関わる企業・事業者も参加し様々な情報交換が行われた

2) 浜名湖地域の環境に関わる団体調査

浜名湖地域の環境に関わる団体を把握する

① 団体の調査（アンケート、ヒアリング取材）

※ネットワークへの入会PRも行います。

－活動団体の把握

－各団体が抱える問題点の抽出（個々の団体ではできないこと）

② 名簿の作成、マップをつくる

(3) 今後の活動(案)

① 浜名湖に関わる人を知る（浜名湖地域資源調査）

浜名湖地域の環境に関わる団体を把握する

→交流会でのワークショップ開催（18年度）

→名簿の作成、マップを完成する

② 浜名湖環境月間（啓発キャンペーンを兼ねる）

18年度は、9月からの1ヶ月間又は3ヶ月間に、環境をキーワードにした行政や各団体の活動及びイベント（環境フェアなど）を一括して紹介する（参考例：掛川のスローライフ月間）

■ ホームページで期間中の行政や各参加団体等が行う活動情報を提供

■ ポスターやチラシの作成、配布

■ ネットワーク主催の全体事業開催

（例）具体的内容は今後検討

● 浜名湖の環境を知る「環境体験学習会」の企画開催

（対象者：子供と親子、地域住民）

－清掃活動、ごみ調査

－浜名湖の水質

－浜名湖の生き物

－都田川の環境探検ツアー（水源～都田ダム湖～浜名湖～弁天島いかり瀬）

－アオサ除去

－浜名湖沿岸ごみのクリーンアップ作戦

－シンポジウム など